

岩手の教育課題に応じた小中一貫教育のモデルカリキュラムの開発(その1) ～国語および算数・数学について～

田代 高章・小岩 和彦・森本 晋也*, 藤岡 宏章**, 藤森 崇浩・町畑 光明・浅沼 美里・
岡本 優・川戸 悠・小笠原 恵・三井寺 健司・小原 俊介・関川 健生・菅原 真紀***

(2019年2月15日受付)

(2019年2月15日受理)

Takaaki TASHIRO, Kazuhiko KOIWA, Shinya MORIMOTO, Hiroaki FUJIOKA, Takahiro FUJIMORI,
Mitsuaki MACHIHATA, Misato ASANUMA, Yuu OKAMOTO, Haruka KAWATO, Megumi OGASAWARA,
Kenji MIIDERA, Syunsuke OBARA, Takeo SEKIKAWA, Maki SUGAWARA

Development of a Model Curriculum for Integrated Elementary and
Junior High School Education Responding to Iwate's Educational Issues :
Focusing on Japanese and Mathematics

要 約

本研究は、平成29(2017)年に告示された改訂学習指導要領を踏まえながら、教育学研究科教職実践専攻(教職大学院)の1年次講義科目である「特色あるカリキュラムづくりの理論と実際」(前期必修)を踏まえ、「学習指導要領とカリキュラム開発」(後期必修)の成果の一つとして、小中の校種をつなぐ9年一貫のカリキュラムを開発し提案するものである。その際、岩手県の特性を生かし、東日本大震災の復興という観点から沿岸被災地の学校をモデルにすること、小中一貫教育に取り組む学校をモデルにすること、という条件を定め、あわせて、岩手の教育課題を念頭に、国語科、算数・数学科、総合的学習、特別支援教育の4つのテーマを取り上げて、独自のカリキュラム開発を提案し、岩手の学校教育実践の発展向上への貢献を目指す研究である。本稿では、国語科、算数・数学科の全体カリキュラム案を提示する。

第1章 本研究の趣旨・目的

本研究の目的は、岩手県被災地沿岸部の学校を想定して、一定のテーマに焦点化しつつ、各学校のカリキュラム開発に際して参考となりうる小中一貫教育の全体的なカリキュラム案をモデル提示することである。

今回の改訂学習指導要領では、将来の不確実で多様な社会像を見据え、「よりよい学校教育を通

じてよりよい社会を創る」という表現にも象徴されるように、学校教育で学んだことが将来の社会において活用できる力の育成を目指している。このような教育課程改革を通して、子どもたちに、就学前教育を含め学校教育を通じて、個々人として生涯にわたって学び続ける力を育て、自らの人生を切り拓くとともに、社会の創造にも寄与する力を育むことが求められている。このような学校教育を通じて育み、将来にもつながる力を、改

* 岩手大学大学院教育学研究科, ** 岩手県立総合教育センター, *** 岩手大学大学院教育学研究科教職実践専攻

訂学習指導要領では「資質・能力」という言葉で強調している。

そのために、学校が家庭や地域と協働しながら、将来の社会を創る担い手を育む環境を整え、学校教育の質全般を高める必要がある。「社会に開かれた教育課程」も、そのような学校から、家庭・地域への横の広がり、学校種を超えて、子どもの発達に即して生涯全般にわたる、縦のつながりとしての両側面を意味するといえる。

何よりも、現在の子どもたちの実態や家庭や地域の現実に照らしながら、現在から未来に向けて、学校教育でどのような力、すなわち、「資質・能力」を育む必要があるかを、各学校において意識しつつ、それらの力を育むのにふさわしい教育内容(教科等の内容、単元内容等)と、主体的・対話的で深い学びという授業改善の視点を生かした適切な教育方法が工夫され、それらの教育活動全般の有効性を適切に評価し、教育活動の絶えざる修正・改善に努めていくことが求められている。いわゆるカリキュラム・マネジメントの視点から、常に教育改善に努めていくことが学校・教職員、学校関係者全般に求められる状況にある。

特に改訂学習指導要領では、各教科や専門性に基づくミクロな観点のみならず、個々の子どもの成長発達という人生全体で、子どもに応じた「資質・能力」を伸ばすことを目指すために、マクロな観点から、教科間の関連や、校種間の接続が重視される。教科をこえる汎用的な能力や、日常生活の事象や地域の課題は、必ずしも特定の教科等に限定されるものではなく、学際的な性格を持ちうる。また、個々の子どもの生涯にわたる人生全体からは、小・中・高と校種相互の関連性を教員自身も意識しながら、当該子どもにとって意味ある教育活動を構想していくことも必要である。

このように、これからの各学校の教員にとっては、全体鳥瞰図としてのカリキュラムをデザインできるカリキュラム開発力を高めることが求められるといえよう。

本研究では、マクロな観点からのカリキュラムの全体像を開発する力の育成を目指しつつ、ある

程度の具体性をもって提案するために、以下の条件を付した。

①東日本大震災の復興という岩手の地域特性を考慮し、沿岸部・被災地の学校を想定すること。

②校種を超えて、個々の子どもの成長発達の全体を見通しながら教育活動に取り組むことを考慮し、義務教育段階の小中一貫教育のカリキュラムを開発すること¹⁾。

③岩手の教育課題に照らして、4つの具体的なテーマに即してカリキュラム開発すること。本研究では、院生とも協議した結果、具体的には、国語、算数・数学、総合的学習、特別支援教育の4テーマとした。

以上の条件を踏まえ、各テーマにおいて、「資質・能力」と単元内容の系統的発展を念頭に置いた全体計画案、年間指導計画案の作成提案を行うものである。

もちろん、それらのカリキュラム案は、あくまで提案であって、絶対不変な計画案ではありえない。本研究で提示するカリキュラム案は、現実の子どもたちに対して、各学校現場で実践することを通じて、常に修正・改善に努め続けることが必要である。

本研究で提示するモデルカリキュラムの成果は、安易に評価できるものではなく、ある程度の期間における各学校での実践活用を通じて、その有効性や正当性が検証されていくと考える。

本研究は、これからの学校教員に求められる、子どもに即したカリキュラム開発力育成の出発点の位置づけを有している。(文責 田代高章)

第2章 研究の方法

カリキュラム開発にあたり、下記のフィールド調査を踏まえ、「国語」「算数・数学」「総合学習(ふるさと科)」「特別支援教育」のテーマを設定した。また、多様な見方・考え方で協議しながらカリキュラム開発を行うことができるよう、学卒院生と現職院生を混合にし、多種の校種からなるグループ

を編成した。そして、前期科目「特色あるカリキュラムづくりの理論と実際」と後期科目「学習指導要領とカリキュラム開発」の授業の一環として下

記のフィールド調査を行い、沿岸被災地における状況を把握しながらカリキュラム開発を行った。

2018年 6月4日 (6月11日)	岩手県教育委員会を訪問し、「幼保小接続」「学力向上」「道德教育」「復興教育」のテーマについて担当の指導主事に本県における現状について調査した。
6月25日	上記の4つのテーマでのカリキュラム開発の中間報告会に岩手県教育委員会から指導主事を招き、改善点について助言を受けた。 ※作成したカリキュラムについては、県教育委員会の各担当指導主事に送付し、評価（良かった点と改善点）を受けた。
7月20日	釜石市立唐丹小学校と唐丹中学校を訪問し、沿岸被災地における教育の現状及び小中及び地域との連携の現状について、管理職及び地域の方から聞き取り調査を行った。
9月21日	釜石市立唐丹小学校と唐丹中学校の学校公開研究会に参加し、沿岸被災地における学校教育の現状について調査した。
11月9日 11月10日	大槌町で開催された小中一貫全国サミットに参加した。大槌学園及び吉里吉里学園における公開授業を参観し、沿岸被災地における小中一貫教育の現状について調査した。
2019年 2月12日	小中一貫カリキュラム開発の最終報告会に、これまで大槌町における小中一貫教育の指導にあたっていた岩手県立総合教育センター所長を招聘し、作成したカリキュラムについて評価を受けた。

（文責 森本晋也）

第3章 小中一貫モデルカリキュラムの提案

1 国語について

(1) 国語教育における現状

全国学力・学習状況調査の県の結果²⁾は、小学校ではAB問題ともに全国を上回っているが、A問題の「読むこと」の正答率が最も低くなっている。中学校のB問題では「話すこと・聞くこと」以外の領域が全国平均をわずかに下回っており、活用力に課題があると考ええる。岩手県学習定着度状況調査の県の結果³⁾は、小学校、中学校ともに「読むこと」の正答率が最も低く、特に登場人物の言動から心情等をとらえることや要旨をとらえたり要約したりすることが低い。「書くこと」では、書かれている内容から自分の考えや意見を

書くこと、「話すこと・聞くこと」では、小学校では、話の内容の大体をとらえて聞くこと、中学校では、発表の内容をもとに話し合いの流れをまとめることの正答率が低くなっている。同様の傾向がモデル校の子どもたちからもうかがえる。

(2) カリキュラム開発の視点

前項で示した学校の実態と、「ふるさとを愛し、よく考え、心豊かにたくましく生きる子どもの育成」⁴⁾という学校教育目標を基に、小中一貫教育の国語教育全体計画を作成した。

学校教育目標を基にして、「目指す子ども像」を他のカリキュラム作成グループと協議の上定めた。「思考力・判断力・表現力等」の育成を重視し、テキストや情報から理解したことをもとに、自分の思いや考えをもち、文章や発話により適切に表

現することができる子どもの育成を目指している。⁵⁾ 学習過程の中において、特に「考えを形成する」過程を重視したものである。国語科として、自分の考えを持ち、適切に表現することの出来る資質・能力を高めることで、被災地の復興と発展を担う人材の育成に寄与したいと考えた。考えを形成し表現する力を重点となる資質・能力と定め、小学校から中学校までの縦のつながりを意識した全体計画とした。モデル校においては、ホップ・ステップ・ジャンプ期（4-3-2）で期を分けている。国語グループでは、学習指導要領⁶⁾の目標及び内容上の区切りから、小学校低学年、中学年、高学年、中学校の4つに期を分けて系統を考えた。4-3-2制の利点である、3、4年生の接続と6年生と中学1年生の接続が円滑に進むという点については、本カリキュラムについてもその視点を生かした運用を図る必要がある。

学習の基盤となる資質・能力の一つである言語能力は子供たちの学習を支える重要な力である⁷⁾。言語能力は全ての教科等の言語活動の充実を通して高めるものである。国語科を要として他の教育活動との関連を図りながら言語能力を高めるという視点を大切にしたい。

教科等横断的な視点を持つ上で特に意識したのは、総合的な学習の時間「ふるさと科」との関連である。ふるさと科の学びと国語科の学習を言語能力という資質・能力ベースでつなぐことを意識した。同様に、特別活動とのつながりも意識した。児童会・生徒総会などの話し合いを、言語能力を発揮する場面と捉え、関連する国語科の単元を明らかにした。

(3) モデルカリキュラムの提案とその特徴

モデル校は震災の被災地にある。町は「町づくりは、人づくりにあり 人づくりは、教育にあり」という理念を掲げ、グローバル人材の育成を目指している。⁸⁾ モデル校の実態を踏まえたカリキュラムの提案として具体的には小中一貫の国語教育全体計画（図1、2）と、国語科年間指導計画（図表3、4、5）を作成した。それぞれについて特徴

を述べる。

まず、全体計画についてである。前項で述べた「国語教育の重点となる資質・能力の明確化」「言語能力の育成の要としての国語科」「教科等を横断して言語能力を育成する」という視点を中心に作成した。その主な特徴は二つである。

一つ目は、重点となる資質・能力を国語の学習における「考えを形成する」過程に焦点化したことである。子供たちの学習状況とふるさと科などの学びの成果を発信するための表現力を高めたいという願いを踏まえてのものである。重点となる資質・能力の系統表中の思考力・判断力・表現力等は、学習指導要領の「読むこと」の指導事項のオ、「書くこと」のウ、「話すこと」のイと、考えの形成に関わる指導事項を基に整理した。

二つ目は、言語能力を高める要としての国語科と、各教科等との関連を示したことである。各教科等の学びの中において国語科で培った言語能力を発揮する。一方で、各教科等の言語活動を通して言語能力を一層高める。特に、ふるさと科との横のつながりを資質・能力ベースで意識した。探究の過程の中で言語能力を発揮する場面を想定し、国語科の単元との関連を例示した。同様に、特別活動の児童・生徒総会を言語能力の発揮場面と捉え、国語教育上重点となる活動として明示した。

次に、年間指導計画について述べる。小学校1年生から中学校3年生までの教材名を配列している。（光村図書の年間指導計画例を参考⁹⁾）また、小中一貫教育を行う広島県福山市立城北中学校の「カリキュラム・マップ」¹⁰⁾を参考に作成した。主な特徴を二つ述べる。

一つ目は、9年間の縦のつながりを意識したことである。各学年で重点的に育成する力は全体計画に示す資質・能力であり、考えの形成に関する指導事項を中心に設定した。

その上で、重点的に育成する力との関連が深い単元を重点単元とした。教材名の隣に☆を付している。小学校1年生から中学校3年生までの国語科を担当する教師が一貫して、育成する力を意識

して重点単元の学びをデザインすることが求められる。

二つ目は、各教科等との横のつながりを踏まえたことである。ふるさと科との関連が深いものには★を記した。例えば、6年生の2学期にはふるさと科で地域の特色や歴史を調査し、課題を発見して分析し、ふるさとの未来について考えて表現する学習が計画されている¹¹⁾。国語科では、「未来がよりよくあるために」という、ふるさとの未来作りをテーマにした意見文を書く単元がある。両者の学びは、内容の上でも資質・能力ベースでも関連が深い。ふるさと科の学びは、意見文を書く素材となる。調査して得た課題を踏まえて意見文を書くことで、書く活動もより目的的で必然性を持ったものとなる。二つの学びをつなげることで、国語科の学びがふるさと科を通して、社会に開かれた学びになるのである。

同様に、特別活動との関連が深い単元に◆を記した。5月と11月には児童・生徒総会が行われることが多い。そこで、国語科の話すこと・聞くこと領域の単元とのつながりを意識した指導を行いたい。国語科で高めた言語能力を総会で発揮したり、総会での言語活動を通して高めた言語能力を国語科の学びの中でさらに高めたりすることができるだろう。

その他の教科との関連についても、その具体を意識して指導することが求められる。今回のカリキュラム開発では、ふるさと科及び特別活動との関連を中心に記したが、同じ言語を学習対象とする外国語科や外国語活動との関連については、押さえるべきである。

以上、モデルカリキュラムの特徴について述べた。小中一貫教育で育む重点となる資質・能力を串として、小学校1年生から中学校3年生までの学びを縦につなぎ、各教科等と国語科の学びを横につないだところがカリキュラム開発上のポイントである。このビジョンのもと国語教育を推進することが、めざす子供の育成のための国語科の役割である。

（4）課題

全体計画は、「沿岸」、「被災地」、「小中一貫校」という想定で作成したが、この3つの要件が全体計画のそれぞれの項目に十分に盛り込まれていなかった。特に、国語科指導に関わる項目については、「沿岸」、「被災地」という面からのとらえが弱かった。教科指導では、教科書中心の学習が基本となるが、地域の学習材等を意図的に活用することで学校の特色を生かした学習活動が充実すると考える。

また、小中一貫教育で育む重点となる資質・能力の系統表に、ホップ・ステップ・ジャンプ期（4－3－2）という小中一貫の3期構成が反映されていない。これは、小学校学習指導要領に目標や内容等が低・中・高と2学年ごとに示されていることに加え、低・中をまとめたホップ期の資質・能力や小中をまたぐステップ期の資質・能力は、発達段階の差や小中の指導内容の違いから、実際の指導を考慮すると活用しづらいと考えた。しかし、これでは4－3－2制をとるモデル校の実態に応じた全体計画とはならない。教科指導と小中一貫校という二つの側面からより実用可能な系統表の作成をめざしたい。

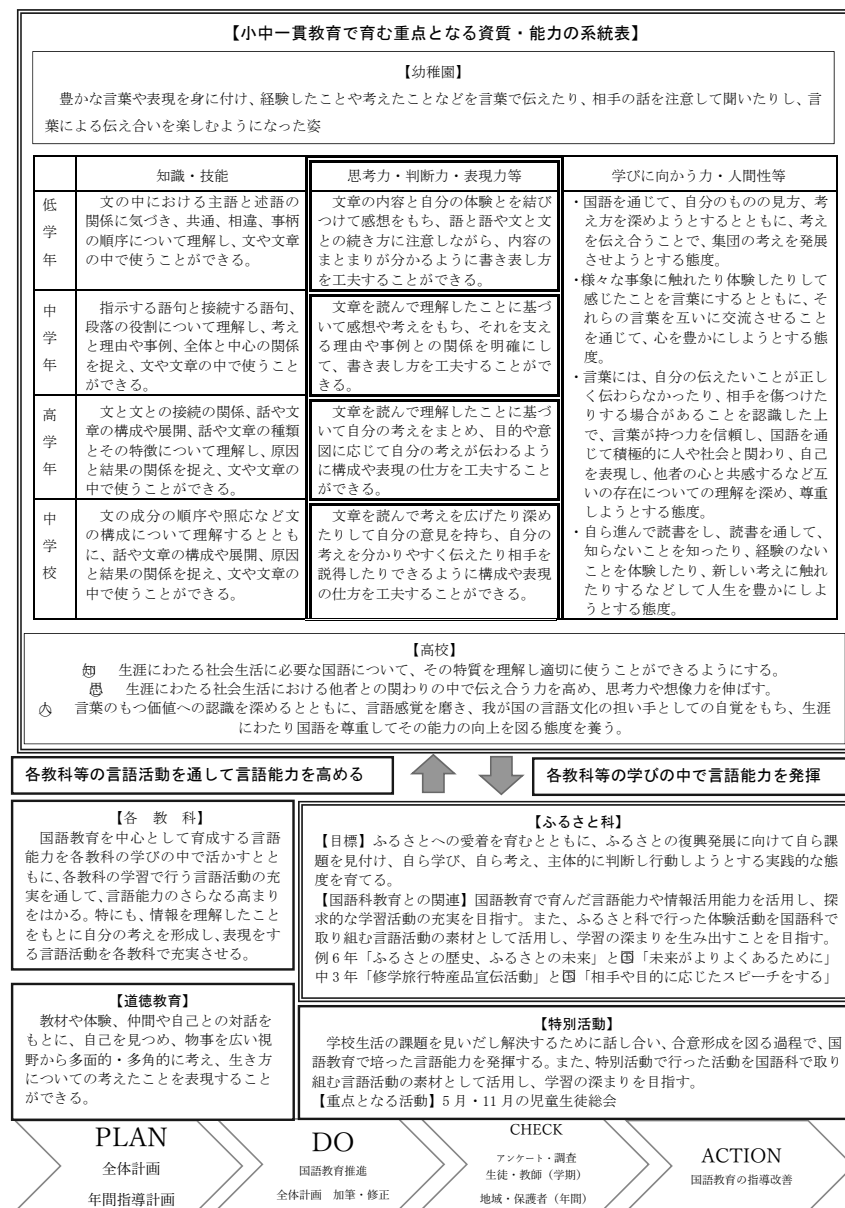
指導と評価という点では、資質・能力の評価の在り方が示されていないことも課題である。重点の資質・能力の思考力・判断力・表現力等は評価がより難しいので、どのように見取るか具体的手立てを共有する必要がある。

（文責 藤森崇浩・町畑光明・浅沼美里・岡本優・川戸悠）

図表 1



図表 2



図表 3

◆ 児童・生徒総会		4月		5月		6月		7月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
学年	各学年で重点的に育成する力	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	重 教材名	
1	・語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること（Bウ） ・文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつこと。（Cオ）	あさなんていうかな どんなおなじかな どうぞよろしく こえのおおきさ、どうするの うたにあわせていうえお ことばをつくらう	えをみてはなそう かきとかき あさのおおきさま はなのみち ぶんをつくらう ねことわこ わけをはなそう	☆ おばさんとおばあさん くばし おもちゃとおもちゃ おもいだしてはなそう あいうえおであそぼう おおきくなつた おむすびころりん たからものをあしえよう	☆ はをへをつかう すきなこと、なあに おおきなかぶ ほんはともだち こんなことをしたよ	☆ いねんせいいうた なつやすみのことをはなそう ひらがなあつまれ ゆうやけ かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ	☆ くじらぐも しらせないな、見えない	☆ まちがいをなおそう かん字のはなし ことばを見つよう じどう車くらべ	☆ かたかなをかこう そのいりようし むかしなばいりっぱい どもだちに、きいてみよう ひづつとよう目 本をえらんでもよう ずうっと、ずうっと、 大すきだよ	☆ てんとうむし もののなまえ かたかなのかたち てがみでしらせよう たぬきの赤糸	☆ ことばをたのしもう これは、なんでしょう どうぶつの赤ちゃん にているかん字	☆ だってだってのおおあさん いいこといっぱい、一 年生											
2		☆ じゅんばんにならぼう ふきのとう 春がいっぱい 今週のニュース	☆ たんぼほのちえ かん字のひろば① かんさつ名人にならう	☆ いなばの白うさぎ かたかなのひろば ともさんはどこかな 同じぶふんをもつかん ズミミー かん字のひろば②	☆ こんなもの、見つけたよ うれしいことば お話タイムをしよう ミリーのすてきなぼうし かん字のひろば③ 夏がいっぱい	☆ おおきくなあれ 大すきなもの、教えて い カンジーはかせの大は つめい ことばあそびをしよう どうぶつ園のじゅうい	☆ お手紙 主題と述語 かん字の読み方 秋がいっぱい お話のさくしやにならう	☆ かたかなで書くことば しかりカードの作り方 おもちゃの作り方 あったらいいな、こん なもの	☆ にたいみのことば、は んたいのいひのことば わたしはおねえさん かん字の広場④ 冬がいっぱい	☆ てのひらを太陽に ようすをあらわすこと ば 見たこと、かんじたこ と 三まいのおふだ おにごっこ	☆ かん字の広場⑤ みんなできめよう なかまのことばとかん 字 スーホの白い馬	☆ ことばを楽しもう 楽しかったよ、二年生											
3	・自分の考えとそれを与える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。Bウ ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。Cオ	よく聞いて、じこしょうかい どん きつきの商店 国語辞典のつかい方 漢字の音と訓 春の楽しみ	よい聞き手にならう きちんとつたえるために こそあど言葉 漢字の広場 国語で遊ぼう こまを楽しむ 俳句を楽しむ	☆ 気になる記号 符など 漢字の広場 たのきゅう 夏の楽しみ	☆ もうすぐ雨に 「ありがとう」を伝えよう 漢字の広場 おでかけよう、楽しい学校生活 インクビー へんとつくり	☆ わたしと小鳥と鈴と 山のてっぺん つたえよう、楽しい学校生活 インクビー へんとつくり	☆ ローマ字 ちいちゃんのかげおくり 漢字の広場 修飾語 秋の楽しみ	☆ すがたをかえる大豆 絵や写真を使ってせつめいする 食べ物ひみつを教えます 漢字の意味	☆ 三年とげ だから島のぼうけん 漢字の広場 言葉で分類する 冬の楽しみ	☆ 雪 ゆき 雪 ありの行列 しりょうから分かる、小学生のこと 見せながら話すときには	☆ コンピュータのローマ字入力 カンジーはかせの音訓 かるた ことわざについて調べよう	☆ 漢字の広場 モチモチの木 わたしの三大ニュース											
4		☆ ばらばら言葉を読み取らう 春のうた 白いぼうし 漢字の組み立て 漢字辞典の使い方 春の風景	☆ よりよい話し合いをしよう 話す言葉は同じでも大きな力を出す 動いて、考えて、また動く 漢字の広場 恒歌・俳句に親しもう	☆ 新聞を作ろう アンケート調査のしかた 新聞にのせる写真や図などを添えるときにはいろいろな意味をもつ言葉 ふるやのり	☆ 一つの花 夏の風景 自分の考えをつたえるには 漢字の広場 「読むこと」について考えよう かげ 読みたい本の見つけ方	☆ 忘れ物 ぼくは川 カンジーはかせの漢字しりとり だれもが関わり合えるように 手と心で読む	☆ 漢字の広場 二んぎつね 秋の風景	☆ 慣用句 アップとルーズで伝える 言葉で変わる写真の印象 「クラブ活動リフレット」を作ろう	☆ 恒歌・俳句に親しもう グラタナスの木 漢字の広場 文と文をつなぐ言葉 レット」を作ろう	☆ のはらうた 野原に集まれ 冬の風景 ウナギのなぞを追って 漢字の広場	☆ 聞き取りメモの工夫 熟語の意味 わたしの研究レポート	☆ 一枚の写真を 初習のふる日 漢字の広場 十年後のわたしへ	☆ まちがえやすい漢字 初習のふる日 漢字の広場 十年後のわたしへ										
5	・語の内容が明確になるように、事実を感想、意見を区別するなど、語の構成を考える力。Aイ ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。Bウ ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。Cオ	☆ 教えて、あなたのことふるさと/あめ玉 なまなつてよう 漢字の広場①	☆ 春の空 新聞を読もう 漢字の成り立ち 見立てる/生き物は円柱形	☆ 漢字の広場② 古典の世界(一) きいて、きいて、きいてみよう 歌謡 千年の虹にいでむ	☆ 漢字の広場③ 未来がよりよくあるために、きいて、きいて『鳥獣図鑑』を読む この私、私はこう見る	☆ やまなし 漢字の広場④ 秋の深まり 未知へ カンジー博士の山登り 漢字の広場⑤	☆ 漢字を正しく使えるように 伝えられてきたもの 日本で使う漢字 漢字の広場⑥	☆ 表現を選ぶ 天地の文 未知へ カンジー博士の山登り 漢字の広場⑥	☆ 自然に学ぶ暮らし 漢字の広場⑥ 海の命 春を待つ冬	☆ 生き物はつながりの中に かなえられた願い 命、私は、ぼくは忘れられない言葉	☆ 印象深く思いを伝えよう 文法への扉3 1年間の学びを振り返ろう	☆ ぼくがここに											
6	・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切な論理の展開などに注意して、語の構成を工夫する力。Aイ ・根拠の適切な考えを説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたり描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力。Bウ ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする力。Cオ	☆ 野原はうらう 声を届ける/書き留める/調べる/続けてみよう	☆ 花曇りの向こう 季節のしおり 春 わかりやすく説明しよう 観点を立てて書く 情報を正確に聞き取る 漢字の組み立てと部首	☆ ダイコンは大きな根?ちよっと立ち止まって練習 記録のしかたを工夫する 「好きなもの」を紹介しよう 情報の集め方を知ろう 話し言葉と書き言葉	☆ 詩の世界 詩を書く言葉を集めよう 空を見上げて文法への扉① 練習 わかりやすい案内文を書く 私が進んだこの一冊本の世界を広げよう 本との出会い 季節のしおり 夏	☆ 星の花が降るころに大人になれなかった弟たちに…… 言葉 方言と共通語 練習 わかりやすい案内文を書く シガの「落ち穂拾い」	☆ 調べたことを報告しよう 漢字2 漢字の音訓 漢字2 指示する語句と接続する語句 季節のしおり 秋 月には思ふ 菫葉の玉の枝	☆ 今に生きる言葉 ちよっと立ち止ま 根拠を明確にして書くこと 練習 流れを踏まえて話し合う 漢字 流れる玉の枝	☆ 練習 意見の说得力 を高める 根拠を明確にして意見を書くこと 漢字2 漢字の音訓 漢字2 指示する語句 練習 相手の考えを踏まえて発言する 俳句を作ろう 言葉物語 語の	☆ 少年の目の思い出 別の人物の視点で書くこと さまざまな表現技法 漢字の成り立ち 都道府県名に用いる漢字	☆ 印象深く思いを伝えよう 文法への扉3 1年間の学びを振り返ろう	☆ ぼくがここに											
1	・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切な論理の展開などに注意して、語の構成を工夫する力。Aイ ・根拠の適切な考えを説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたり描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力。Bウ ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする力。Cオ	☆ 見えないだけ アイスクリーム 練習 要点を整理して聞き取る 季節のしおり 春	☆ 枚原子自分流枚原子 多様な方法で情報を集めよう 漢字1 熟語の意味	☆ 生物が記録する科学 アイスクリームの可能性 練習 説明のしかたを工夫する 魅力的な提案をしよう メディアと上手に付き合うために 言葉1 類義語・対義語・多義語	☆ 新しい短歌のために 多様な方法で情報を集めよう 言葉と比べよう 言葉の力 文法の扉1 読書生活を豊かに	☆ 盆土産 一垣の米 練習 推察して適切な文章に直す 言葉の力 気持ちを込めて書くこと 文法の扉2 読書生活を豊かに	☆ モアイは語る 一垣の米 言葉2 敬語 漢字2 季節のしおり 秋 練習 相手の考えを踏まえて発言する 俳句を作ろう 言葉物語 語の	☆ 仁相寺にある法師 漢詩の風景 昔は「最後の晩餐」を書いている 練習 相手の考えを踏まえて発言する 俳句を作ろう 言葉物語 語の	☆ 練習 意見の说得力 を高める 根拠を明確にして意見を書くこと 漢字2 漢字の音訓 漢字2 指示する語句 練習 流れを踏まえて話し合う 漢字 流れる玉の枝	☆ 走れメロス 文法の扉 表現のしかたを工夫して書く 「ある日の自分」の物語を書く	☆ 科学はあなたの中にある 漢字3 送り仮名 漢字の練習 都道府県名に用いる漢字	☆ 1年間の学びを振り返ろう 国語学習の報告書をまとめる 鍵											
2	・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切な論理の展開などに注意して、語の構成を工夫する力。Aイ ・表現の適切な資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する力。Bウ ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ力。Cオ	☆ 春に 相手の手 字で時にこれを書ふ「論語」から	☆ 練習 評価しながら聞く 社会との関わりを伝えよう 相手の手 字で時にこれを書ふ「論語」から	☆ 月の起源を探る 練習 文章の形態を選んで書く 魅力的な紙面を作ろう 「想いのリレー」に加わろう 言葉1	☆ 俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぶ 「批評」の言葉をもつ 文法の扉2 読書生活を豊かに	☆ 挨拶一原簿の写真をよせて 故郷 練習 推察して適切な文章に直す 言葉の力 気持ちを込めて書くこと 文法の扉2 読書生活を豊かに	☆ 言葉2 漢字2 古今和歌集仮名寄侍つる方集・古き・新古今 夏草一「おくのほそ道」から 古典を心の中に	☆ 作られた「物語」を超えて 練習 話し合いを効果的に進める 話し合えて提案をまとめる 練習 観点を立てて分析する	☆ 説得力のある文章を書くこと 批評文を書く 切題 文法への扉2 読書に親しむ	☆ 誰かの代わりに わたしを兼ねないで 漢字3 漢字のま	☆ わたしを兼ねないで 漢字3 漢字のま	☆ 三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語ろう											
3	・自分の立場や考えを明確にし、相手を納得できるように論理の展開などを考えて、語の構成を工夫する力。Aイ ・表現の適切な資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する力。Bウ ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ力。Cオ	☆ 春に 相手の手 字で時にこれを書ふ「論語」から	☆ 練習 評価しながら聞く 社会との関わりを伝えよう 相手の手 字で時にこれを書ふ「論語」から	☆ 月の起源を探る 練習 文章の形態を選んで書く 魅力的な紙面を作ろう 「想いのリレー」に加わろう 言葉1	☆ 俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぶ 「批評」の言葉をもつ 文法の扉2 読書生活を豊かに	☆ 挨拶一原簿の写真をよせて 故郷 練習 推察して適切な文章に直す 言葉の力 気持ちを込めて書くこと 文法の扉2 読書生活を豊かに	☆ 言葉2 漢字2 古今和歌集仮名寄侍つる方集・古き・新古今 夏草一「おくのほそ道」から 古典を心の中に	☆ 作られた「物語」を超えて 練習 話し合いを効果的に進める 話し合えて提案をまとめる 練習 観点を立てて分析する	☆ 説得力のある文章を書くこと 批評文を書く 切題 文法への扉2 読書に親しむ	☆ 誰かの代わりに わたしを兼ねないで 漢字3 漢字のま	☆ わたしを兼ねないで 漢字3 漢字のま	☆ 三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語ろう											

図表 4

国語科年間指導計画

A: 話すこと・聞くこと		B: 書くこと		C: 読むこと		☆重点単元		★ふるさと科		◆ 特活（児童・生徒総会）		
学年	各学年で重点的に育成する力	4月		5月		6月		7月		8・9月		
		重	教材名	重	教材名	重	教材名	重	教材名	重	教材名	
1	Cオ：文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ力 Bウ：語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する力	★	あさ なんていおうかな どんなおはなしか どうぞよろしく こえのおおきさ、どうするの うたにあわせてあいうえお ことばをつくろう		えをみてはなそう かきとかき あさのおひさま はなのみち ぶんをつくろう ねことねっこ わけをはなそう	☆	おばさんとおばあさん くちばし おもちゃとおもちゃ おもしろいではなそう あいうえおであそぼう おおきくなった おむすびころりん たからものをおしえよう		☆	はをへをつかおう すきなこと、なあに おおきなかぶ ほんはともだち こんなことをしたよ	☆	いちねんせい うた なつやすみのことをはなそう ひらがなあつめ ゆうやけ かたかなをみつけれよう うみのかくれんぼ かずとかんじ
		☆	じゅんばんにならぼう ふきのとう 春がいっぱい 今週のニュース	☆	たんぼほのちえ かん字のひろば① かんさつ名人になろう		いなばの白うさぎ かたかなのひろば ともさんはどこかな 同じぶぶんをもつかん字 スイミー かん字のひろば②	☆	☆	こんなもの、見つけたよ うれしいことば お話クイズをしよう ミリーのすてきなぼうし かん字のひろば③ 夏がいっぱい	☆	おおきくなあれ 大すきなもの、教えたい カンジーはかせの大はつめい ことばあそびをしよう どうぶつ園のじゅうい
3	Cオ：文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつ力 Bウ：自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する力		よく聞いて、じこしようかい どきん きつつきの商売 国語辞典のつかい方 漢字の音と訓 春の楽しみ	◆ ◆ ☆ ☆	よい聞き手になろう きちんとつたえるために こそあど言葉 漢字の広場 言葉で遊ぶ こまを楽しむ 俳句を楽しもう	★	気になる記号 符号など 漢字の広場 たのきゅう 夏の楽しみ ★たんけん、発見！町の人	☆ ☆	☆	もうすぐ雨に 「ありがとう」を伝えよう 漢字の広場 本を使って調べよう 里山は、未来の風景 本の分類表		わたしと小鳥と鈴と 山のてっぺん つたえよう、楽しい学校生活 インタビュー へんとつくり
		☆	はらばら言葉を聞き取ろう 春のうた 白いぼうし 漢字の組み立て 漢字辞典の使い方 春の風景	◆ ◆ ☆ ☆	よりよい話し合いをしよう ◆話し言葉は同じでも大きな力を出す 動いて、考えて、また動く 漢字の広場 短歌・俳句に親しもう	☆ ☆ ☆ ☆	新聞を作ろう アンケート調査のしかた 新聞のせる写真や図などを 選ぶときにはいろいろな意味をもつ言葉 ふるやのもり ★できることから始めよう	☆ ☆	☆	一つの花 夏の風景 自分の考えをつたえるには 漢字の広場 「読むこと」について考えよう かげ 読みたい本の見つけ方	☆	忘れ物 ぼくは川 カンジーはかせの漢字しりとり だれもが関わり合えるように 手と心で読む
5	Cオ：文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力 Aイ：話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考慮する力	☆	教えて、あなたのこと ふるさと/あめ玉 なまえてつけてよ 漢字の広場①	☆	春の空 新聞を読もう 漢字の成り立ち 見立てる/生き物は円柱形	☆	漢字の広場② 古典の世界(一) きいて、きいて、きいて きたちの花 歌謡 千年の釘にいだむ	☆	☆	漢字の広場③ 夏の夜 次への一歩―活動報告書 からたちの花 カンジー博士の暗号難解 ★大切な命、宿泊体験	☆	日常を十七音で 和語・漢語・外来語 明日をつくるわたしたち 漢字の読みと使い方
	Bウ：目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするのと同時に、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力		つないで、つないで、 一つのお話 支度 漢字の広場① 春のいぶき	☆ ◆ ◆ ☆	笑うから楽しい/時計の時間と心の時間 ◆学級討論会をしよう カラーライス 漢字の形と音・意味	☆ ☆ ☆ ☆	私と本/森へ 漢字の広場② 河鹿の屏風 夏のさかり	☆★	☆★	ようこそ、わたしたちの町へ せんねん まんねん 熟語の成り立ち たのしみは ★ふるさとの歴史・未来	☆★	漢字の広場③ 未来がよりよくあるために 生活の中の言葉 日本で使う文字 ★ふるさとの歴史・未来
1	Cオ：文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする力 Aイ：自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付随的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考慮する力 Bウ：根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力	☆	野原はうたう 声を屈ける/書き留める/調べる/続けてみよう	◆ ◆ ◆ ◆	花曇りの向こう 季節のしおり 春 わかりやすく説明しよう 観点を立てて書く 情報を正確に聞き取る 漢字の組み立てと部首	☆★	ダイコンは大きな根やちよっと立ち止まって練習 記録のしかたを工夫する 「好きなもの」を紹介しよう 情報の集め方を知ろう 話し言葉と書き言葉 ★道徳発想体験	☆		詩の世界 詩を書こう 言葉を集めよう 空を見上げて 文法への扉 1 光る地平線 私が選んだこの一冊 本の世界を広げよう 本との出会い 季節のしおり 夏	☆	星の花が降るころに大人にならなかった弟たちに…… 言葉 方言と共通語 練習 わかりやすい案内文を書く シカの「落ち穂拾い」
	Cオ：文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力 Aイ：自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する力 Bウ：根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力		見えないだけ アイスプラネット 練習 要点を整理して聞き取る 季節のしおり 春	☆ ★ ☆	★枕草子自分流枕草子 多様な方法で情報を集めよう 漢字 1 熟語の構成	☆★ ☆ ☆	★生物が記録する科学 ーパイオロギングの可能性 練習 説明のしかたを工夫する 魅力的な提案をしよう メディアと上手に付き合うために 言葉 1 類義語・対義語・多義語 ★特産品販売活動（9月）	☆	☆	★新しい短歌のために 短歌を味わう 言葉を集めよう 言葉の力 文法への扉 1 読書生活を豊かに		★盆土産 字のない業書 練習 推敲して適切な文章に直す 気持ちを込めて書こう
3	Cエ：文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ力 Aイ：自分の立場や考えを明確にし、相手を納得できるように論理の展開をj考えて、話の構成を工夫する力 Bウ：表現の仕方j考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する力	☆ ☆ ◆	★春に 握手 練習評価しながら聞く 社会との関わりをj考えよう 相手や目的に応じたスピーチをする ★修学旅行特産品宣伝活動	☆ ☆ ★	★学び手時にこれを習ふー「論語」から 漢字 1 熟語の読み方	☆ ☆ ★	★月の起源を探る 練習 文章の形態を選ん 修学旅行記を編集する 「想いのリレー」に加わろう 言葉 1	☆ ☆	☆	★俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぶ 「批評」の言葉をためる 文法への扉 読書生活を豊かに	☆	★挨拶ー原簿の写真によせて 故郷 練習推敲して文章を整える 新聞の社説を比較して読もう 論理の展開を工夫して書こう

図表 5

国語科年間指導計画

A: 話すこと・聞くこと

B:書くこと

C:読むこと

☆重点单元

★ふるさと科

◆ 特活（児童・生徒総会）

学年	各学年で重点的に育成する力	10月		11月		12月		1月		2月		3月		
		重	教材名	重	教材名	重	教材名	重	教材名	重	教材名	重	教材名	
1	Cオ：文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ力 Bウ：語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する力	☆	くじらでもしらせたいな、見せたいな		まちがいをなおそかん字のはなしことばを見つけようじどう車くらべ	☆	かたかなをかこうまのいりょうしむかしながいっばいともだちに、きいてみよう日づけとう日本をえらんでようざうっと、ずうっと、大すきだよ	☆	でんとうむしものなまえかたかなのかたちでがみてらせようたぬきの糸車		ことばをたのしむものの名まえかたかなのかたちでがみてらせようどうぶつの赤ちゃんにているかん字	☆	なつてだったのおはあさんいいこといっぱい、一年生	
			★学校と周辺探検											
2			お手紙主語と述語かん字の読み方秋がいつぱいお話のさくしゃになろう	☆	かたかなで書くことばしりかけカードの作り方おもちの作り方あったらしいな、こんなもの	☆	にたいみのことば、はんたいのいのみのことばわしたはおねえさんかん字の広場④冬がいつぱい	☆☆ 民話	でのひらを太陽のようにすをあらわすことば見たこと、かんじたこと三まいのおふだおにごっこ	☆	かん字の広場⑤みんなできめよなかまのことばとかん字スーパの白い馬	☆	ことばを楽しもう楽しかったよ、二年生	
3	Cオ：文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつ力 Bウ：自分の考えとそれを与える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する力	☆	ローマ字いちちゃんのかげおくり漢字の広場修飾語秋の楽しみ	☆ ★	すがたをかえる大豆絵や写真を使ってせつめいする働く人のひみつを教えます短歌を楽しむ漢字の意味	☆	三年とうげたから島のぼうけん漢字の広場言葉を分類する冬の楽しみ	☆	ゆきありの行列しょうから分かれる、小学生のこと見せながら話すときには	☆	コンピュータのローマ字入力カンジーはかせの音訓かるたことわざについて調べよう	☆☆ ★たんけん、発見！町の人	漢字の広場モチモチの木わたしのまちの三大ニュース	
				★たんけん、発見！町の人			★たんけん、発見！町の人							
4		☆	漢字の広場ごんぎつね秋の風景	☆	慣用句アップとルーズで伝える言葉で変わる写真の印象「クラブ活動リポート」を作ろう	☆	短歌・俳句に親しもうプラタナスの木漢字の広場文と文をつなぐ言葉	☆	のはらうた野原に集まれ冬の風景ウナギのなどを追って漢字の広場	☆	聞き取りメモの工夫熟語の意味わたしの研究レポート	☆☆ ★2分の1成人式	まちがえやすい漢字初雪のふる日漢字の広場十年後のわたしへ	
5	Cオ：文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力 Aイ：話の内容が明確になるように、事実と感想、意見を区別するなど、語の構成を考える力		大造じいさんとガン漢字の広場秋の夕暮れ	☆☆ ★大切な命鮎の字習	☆	天気予想するグラフや表を用いて書く同じ読み方の漢字	☆	百年後のふるさとを守る古典の世界(二)分かりやすく伝える詩の楽しみ方を見つけよう	☆	想像力のスイッチを入れよう漢字の広場⑤見るなのさし	☆	すいせんします複合語冬の朝わらぐつつの中の神様	☆	一枚の写真から漢字の広場⑥六年生になったら
		☆	やまなし漢字の広場④秋の探まり『鳥獣戯画』を読むこの絵、私はこう見る		漢字を正しく使えるように伝えられてきたもので日本で使う漢字漢字の広場⑤		表現を選ぶ天地の文未知へカンジ博士の山登り	☆	自然に学ぶ暮らし漢字の広場⑥海の命春を得待つ	☆☆ ★歩きたどり未来へ	☆	生き物はつながりの中になえられた願い今、私は、ぼくは忘れられない言葉	☆	中学校へつながよう生きる
6	Bウ：目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力													
1	Cオ：文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする力 Aイ：自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考える力 Bウ：根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力	☆☆ ★自然体験学習★職場訪問	調べたことを報告しよう漢字2 漢字の音訓漢字2 指示する語句と接辞する語句季節のしおり秋いろは歌月に思う蓬萊の玉の枝	☆ ☆ ◆ ◆	今に生きる言葉幻の魚は生きていた根拠を明確にして書く練習流れを踏まえて話し合う話題や方向を捉えて話し合う	☆	練習感じたことを整理する根拠を明確にして魅力を伝えよう鑑賞文を書く作文法の扉2校守三代読書案内季節のしおり冬	☆	少年の日の思い出人物の視点で書くさまざまな表現技法漢字の成り立ち都道府県名に用いる漢字	☆	印象深く思いを伝えよう文法への扉31年間の学びを振り返ろう		ほくがここに	
2	Cオ：文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力 Aイ：自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する力 Bウ：根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考て描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力	☆	モアイは語る一地球の未来言葉2 敬語漢字2季節のしおり秋俳句を作ろう平家物語雨のち	◆ ◆ ◆	仁和寺にある法師漢詩の風景君は「最後の晩餐」をしているか練習相手の考えを踏まえて発言する話し合って考えを広げよう	☆	練習意見文の説得力を考える根拠を明確にして意見を書く落葉松小さな町のラジオ発一臨時災害放送局「りんごラジオ」読書案内、本の世界を広げよう季節のしおり冬	☆	走れメロス文法への扉表現のしかたを工夫しよう「ある日の自分」の物語を書く		科学はあなたの心にある漢字3 送り仮名の練習都道府県名に用いる漢字	☆	1年間の学びを振り返ろう国語学習の報告書をまとめる鍵	
3	Cエ：文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ力 Aイ：自分の立場や考えを明確にし、相手を納得できるように論理の展開などを考て、話の構成を工夫する力 Bウ：表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する力	☆	言葉2漢字2古今和歌集仮名序君待つと一万葉・古今・新古今夏草一「おくのほそ道」から古典を心の中に	◆ ◆ ◆	作られた「物語」を超えて練習話し合いの効果的に進める話し合った提案をまとめよう練習観点を立てて分析する	☆	説得力のある文章を書く批評文を書く初恋文法への扉2読書に親しむ	☆	誰かの代わりに		わたしを束ねないで漢字3 漢字のまとめ	☆	三年間の歩みを振り返る学びについて語ろう	
				★町中学生会議										

2 算数・数学について

(1) 現状

平成29年度岩手県学習定着度状況調査の結果¹²⁾から、モデル校では小学校算数、中学校数学ともに県平均を下回っている。小学校算数はその差は小さくなっているが、「量と測定」の領域では、県の正答率と比較して10ポイント以上ひらきがあり、課題が顕著である。中学校数学では、7年生から8年生に学年が上がると、県平均との差が小さくなるが、依然として5ポイントほど下回っているのが現状である。

また、平成30年度岩手県学習定着度状況調査の結果¹³⁾から、岩手県全体の傾向として小学校・中学校ともに「図形」領域における正答率が低く、「数学的な考え方」に課題が見られる。本カリキュラムは、モデル校のみならず岩手県全体の算数・数学科における児童・生徒の実態をもとに作成したものである。

(2) カリキュラム開発の視点

本カリキュラムを開発するにあたっては、学習指導要領（平成29年告示）改訂の基本方針である「育成を目指す資質・能力の明確化」「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進」「カリキュラム・マネジメントの推進」^{14) 15)}を踏まえながら、岩手県沿岸部の被災地域にある小中一貫校をモデルとして作成した。¹⁶⁾

具体的には、幼児期からの資質・能力のつながりと、9年生修了時のゴールの姿を具体的に想定し、各学年で育成したい資質・能力を3つの柱に基づいて示すこととした。また、算数・数学科における児童・生徒の実態から、育成を目指す資質・能力や、領域、数学的活動において重点を明らかにすることとした。さらに、ふるさと科との関連においては、「他者とかかわる力」を育成する「協働的な学び」を推進したり、地域に目を向け、児童・生徒の学習意欲を高める地域教材の開発を行ったりしていくこととした。

(3) モデルカリキュラムの提案とその特質

全体計画の特質は4点ある。1点目は、今年度の重点を教職員全体で共有するために、算数・数

学科の指導方針として、重点的に育成を目指す資質・能力や領域について明記した点である。2点目は、ふるさと科との関連を明記することで、復興教育のねらいや教科横断的な視点を意識して教科指導ができるようにした点である。3点目は、推進体制に教職員の役割を明確にしたことで、課題を解決するために誰が何をすれば良いかが分かるようにした点である。4点目は、9年生修了時のゴールの姿を設定し、算数・数学教育で目指す子どもの姿を、思考力・判断力・表現力等について重点に即して明確にした点である。

年間計画^{17) 18)}の特質は2点ある。1点目は、課題である「図形領域」と「思考力・判断力・表現力等」に関しての重点を記し、活用しやすくしている点である。2点目は、9年間の系統性を意識して指導できるよう、領域ごとに印をつけ活用しやすくしている点である。なお、年間指導計画については年度当初の段階で作成したものであるが、実際の指導を踏まえながら年度途中で改善・修正を加えていくものとする。

(4) 課題

小中一貫教育において算数・数学科教育が担う役割が何かを明らかにし、児童・生徒の実態に即したより具体的な全体計画や年間指導計画を作成する必要がある。

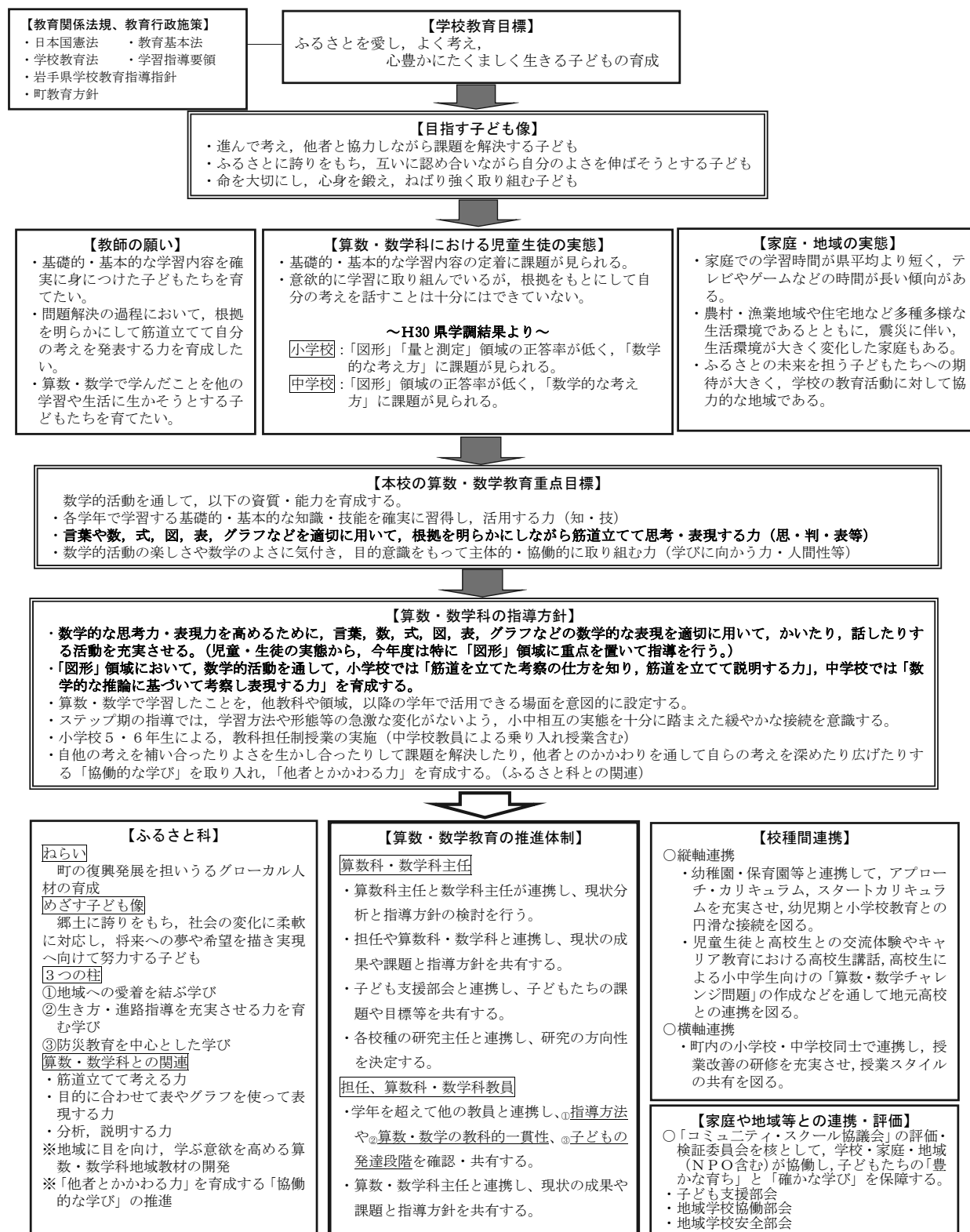
また、校種間連携における地元高校との連携において、小中一貫校から高校にどのようなアプローチができるのかを考えていく必要があると考える。

さらに、ふるさと科との関連における「協働的な学び」を通して、主体性などの情意面のみならず対人スキルなどの非認知的な能力も含めた育成についても検討していく必要がある。

（文責 小笠原恵・三井寺健司・小原俊介・関川健生・菅原真紀）

図表 6

算数・数学教育全体計画



図表 7

【算数・数学教育で目指す子どもの姿】

幼児期で目指す姿

日常生活や遊びを通して、数量や図形に関する興味や関心を持ち、物事の法則性に気付いたり、自分なりに考えたり、他の幼児の考えなどに触れて新しい考えを生み出す喜びや楽しさを味わいながら自分の考えをよりよいものにしようとしたりする子ども。

小中一貫教育9年間で目指す姿（9年生修了時のゴールの姿）

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察したり表現したりして数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりする子ども。

・思考力・判断力・表現力：数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力

・数学的活動：「日常の事象及び数学の事象を対象とした問題解決の活動」「数学的な表現を生かしながら互いに伝え合う活動」←今年度の重点活動！

・協働的な学び：自他の考えを補い合ったりよさを生かし合ったりして課題を解決したり、他者とのかわりを通して自らの考えを深めたり広げたりする学び

	学年	協働的な学びの姿	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ホップ期	1年	自分の考えを持って友達と意見交換を行い、互いの	数の概念と表し方及び計算の意味を理解し、数量や図形についての感覚を豊かにし、数学的な処理や表現の基礎となる技能を身につけた子ども。	ものの数・形などに着目し、計算の仕方や形の構成について考えたことを、具体物や図などを用いて表現する子ども。	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ子ども。
	2年	共通点や相違点を整理しながら学ぶ子ども。	基本的な数量や図形の概念や意味、性質を確実に理解し、数学的な処理や表現の基礎となる技能を身につけた子ども。	数量関係や図形の構成要素などに着目し、計算の仕方や身の回りの事象について考察したことを、具体物、図、数、式などを用いて表現し伝え合う子ども。	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付く生活や学習に活用しようとする子ども。
	3年		基本的な数量や図形の概念や意味、性質を確実に理解し、数学的な処理や表現の基礎となる技能を身につけた子ども。	数量関係や図形の構成要素などに着目し、計算の仕方や身の回りの事象について考察したことを、具体物、図、数、式などを用いて表現し伝え合う子ども。	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付く生活や学習に活用しようとする子ども。
	4年		基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解し、適切に数理的な処理や表現ができる技能を確かに身につけた子ども。	数量関係や図形の構成要素及び位置関係などに着目し、計算の仕方や図形の性質や図形の計量などについて考察したことを、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う子ども。	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付く学習したことを生活や学習に活用しようとする子ども。
ステップ期	5年	互いの立場や意図をはっきりさせながら友達と意見を伝え合い、	基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解し、適切に数理的な処理や表現ができる技能を確かに身につけた子ども。	計算の意味や図形の構成要素や図形間の関係などに着目し、計算の仕方や図形の性質や図形の計量などについて考察したことを、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う子ども。	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付く学習したことを生活や学習に活用しようとする子ども。
	6年	互いのよい考えを取り入れながら課題を解決する子ども。	基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解し、小学校での算数学習で身につけた技能を生かしながら、適切な数理的な処理や表現ができる技能を確かに身につけた子ども。	計算の意味や図形を構成する要素や、図形の構成要素や図形間の関係などに着目し、問題解決の思考過程やその結果を、解決の目的に適した図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う子ども。	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付く学習したことを生活や学習に活用しようとする子ども。
	7年		基礎的な概念や原理・法則などを確実に理解し、問題発見・解決の基礎をなす技能を身につけた子ども。	言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて、問題解決に向けて思考した過程や、得られた事実や方法、判断の根拠などを筋道立てて説明し伝え合う子ども。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり問題解決過程を振り返って検討しようとしたり多面的に捉え考えようとしたりする子ども。
ジャンプ期	8年	帰納・類推・演繹などの推論を用いて思考し、伝え合う活動を行い	基礎的な概念や原理・法則などを、既習の知識と関連付けて確実に理解し、問題発見・解決の基礎をなす技能を身につけた子ども。	言葉や数、式、図、表、グラフなどを相互に関連付けながら適切に用いて、数量や図形などに関する事実や処理の仕方、思考の過程や判断の根拠などを論理的に説明し伝え合う子ども。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認めよりよく問題解決しようとしたりする子ども。
	9年	ながら、自らの考えを広げたり深めたりする子ども。	基礎的な概念や原理・法則などを、既習の知識と関連付けて確実に理解し、問題発見・解決の過程を遂行できるよう、その基礎をなす技能を身につけた子ども。	事象について、数学を活用して論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察したりしたことを、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に説明し伝え合う子ども。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認めよりよく問題解決しようとしたりする子ども。

図表 8

算数・数学科 年間指導計画

◎・・・今年度の重点目標「図形」領域を学習する月

○「数と計算」「数と式」 ★「図形」 ☆「測定」 △「変化と関係」「関数」 □「データの活用」

学年	各学年で重点的に育成する力	4月		5月		6月		7月		8月	
		重	単元名	重	単元名	重	単元名	重	単元名		
1	ものの数・形などに着目し、計算の仕方や形の構成について考えたことを、具体物や図などを用いて表現する力		○なかまづくりとかず ※こえにだしていおう		○なんばんめ ○いくつといくつ		○あわせていくつふえるといくつ ○のこりはいくつがはいいくつ		○10よりおおきいかず ☆なんじなんじはん ※おぼえているかな		
2	数量関係や図形の構成要素などに着目し、計算の仕方や身の回りの事象について考察したことを、具体物、図、数、式などを用いて表現し伝え合う力		わかりやすくあらわそう ※おぼえているかな ○たし算のしかたを考えよう		○ひき算のしかたを考えよう ※どんな計算になるのかな ☆ 長さをはかるう		※おぼえているかな ○100より大きい数をしらべよう ☆ 水のかさをはかるう ※おぼえているかな		☆時計を生活に生かそう ※おぼえているかな		
3	数量関係や図形の構成要素などに着目し、計算の仕方や身の回りの事象について考察したことを、具体物、図、数、式などを用いて表現し伝え合う力		○九九を見なおそう ☆時こくと時間のもともめ方を考えよう		☆ 長さをはかるう ※おぼえているかな ○新しい計算を考えよう	◎	○大きい数の計算を考えよう ※考える力をのぼそう ○計算のしかたをくふうしよう ※ かたちであそぼう		○わり算を考えよう ※おぼえているかな		
4	数量関係や図形の構成要素及び位置関係などに着目し、計算の仕方や図形の性質や図形の計量などについて考察したことを、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う力	◎	□グラフや表を使って調べよう ※おぼえているかな ☆ 角の大きさの表し方を考えよう		○わり算のしかたを考えよう	◎	※おぼえているかな ☆ 四角形を調べよう		※考える力をのぼそう ○そろばん		
5	計算の意味や図形の構成要素や図形間の関係などに着目し、計算の仕方や図形の性質や図形の計量などについて考察したことを、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う力	◎	○数のしくみを調べよう ※おぼえているかな ☆ 直方体や立方体のかさの表し方を考えよう		△変わり方を調べよう ○小数のかけ算を考えよう		○小数のわり算を考えよう ※どんな計算になるのかな ※おぼえているかな	◎	☆ 形も大きさも同じ図形を調べよう		
6	計算の意味や図形を構成する要素や、図形の構成要素や図形間の関係などに着目し、問題解決の思考過程やその結果を、解決の目的に適した図や式などを用いて数学的に表現し伝え合う力	◎	☆ つりあいのとれた形を調べよう ※おぼえているかな	◎	☆ 円の面積の求め方を考えよう ○文字を使って式に表そう ※おぼえているかな ○分数のかけ算を考えよう	◎	※ かたちであそぼう ○分数のわり算を考えよう	◎	※どんな計算になるのかな ☆ 角柱や円柱の体積の求め方を考えよう ☆ およその面積や体積を求めよう		
7	言葉や数、式、図、表、グラフなどを適切に用いて、問題解決に向けて思考した過程や、得られた事実や方法、判断の根拠などを筋道立てて説明し伝え合う力		○正負の数 (1) 正負の数 (2) 加法と減法		(3) 乗法と除法 (4) 正負の数の利用 章の問題A		○文字と式 (1) 文字を使った式 (2) 文字式の計算 (3) 文字式の利用		章の問題A ○方程式 (1) 方程式とその解き方		
8	言葉や数、式、図、表、グラフなどを相互に関連付けながら適切に用いて、数量や図形などに関する事実や処理の仕方、思考の過程や判断の根拠などを論理的に説明し伝え合う力		○式の計算 (1) 式の計算		(2) 文字式の利用 章の問題A		○連立方程式 (1) 連立方程式とその解き方 (2) 連立方程式の利用 章の問題A		△1次関数 (1) 1次関数		
9	事象について、数学を活用して論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察したりしたことを、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に説明し伝え合う力		○多項式 (1) 多項式の計算		(2) 因数分解 (3) 式の計算の利用 章の問題A ○平方根 (1) 平方根		(2) 根号をふくむ式の計算 章の問題A ○2次方程式の利用 (1) 2次方程式とその解き方		(2) 2次方程式の利用 章の問題A		

算数・数学科 年間指導計画

◎・・・今年度の重点目標「図形」領域を学習する月

○「数と計算」「数と式」 ★「図形」 ☆「測定」 △「変化と関係」「関数」 □「データの活用」

学年	重	9月 単元名	重	10月 単元名	重	11月 単元名	重	12月 単元名	重	1月 単元名	重	2月 単元名	重	3月 単元名
1		★ <u>どちらがながい</u> ○3つのかずのけいさん △どちらがおおい ※おぼえているかな	◎	○たしざん ★ <u>かたちあそび</u>		○ひきざん ※どんなけいさんになるのか		★ <u>どちらがひろい</u> ※けいさんびらみっど ※おぼえているかな		○おおいきかず ※おぼえているかな	◎	☆なんじなんぶん ※ビルをつくろう □ずをつかってかんがえよう ★ <u>かたちづくり</u>		※ばしよをあらわそう ※1ねんのふくしゅう
2	◎	○計算のしかたをくふうしよう ※おぼえているかな ○ひっ算のしかたを考えよう ★ <u>形をしらべよう</u> ※おぼえているかな		○新しい計算を考えよう ※九九ビンゴ		○九九をつくろう ※おぼえているかな		○1000より大きい数をしらべよう		★ <u>長さをはかるう</u> ※おぼえているかな	◎	□図をつかって考えよう ※おぼえているかな ○分けた大きさのあらわし方をしらべよう ★ <u>はこを作ろう</u>		※計算ピラミッド ※2年のふくしゅう
3		○10000より大きい数を調べよう ※おぼえているかな ○かけ算のしかたを考えよう		○大きい数のわり算を考えよう ※どんな計算になるのかな ※おぼえているかな ○はしたの大きさの表し方を考えよう	◎	※考える力をのばそう ☆ <u>重さを数で表そう</u> ※おぼえているかな ★ <u>まるい形を調べよう</u>		○はしたの大きさの表し方を考えよう ※おぼえているかな		○□を使って場面を式に表そう ※おぼえているかな ○かけ算の筆算を考えよう	◎	★ <u>三角形のなかまを調べよう</u> ※おぼえているかな □見やすく整理して表そう	◎	○そろばん ※ <u>かたちであそぼう</u> ※考える力をのばそう ※3年のふくしゅう
4		○1億より大きい数を調べよう ※おぼえているかな ○わり算の筆算を考えよう	◎	※ <u>かたちであそぼう</u> ○おおよその数の表し方を考えよう ○計算のやくそくを調べよう	◎	※おぼえているかな ★ <u>広さを調べよう</u> ○小数のしくみを調べよう		△どのように変わるか調べよう ※おぼえているかな		○小数のかけ算とわり算を考えよう ※おぼえているかな ※どんな計算になるのかな	◎	○分数をくわしく調べよう ★ <u>箱の形を調べよう</u>	◎	※ <u>かたちであそぼう</u> ※考える力をのばそう ※4年のふくしゅう ※算数おもしろ旅行
5	◎	○整数の性質を調べよう ○分数と小数、整数の関係を調べよう ※考える力をのばそう ※ <u>かたちであそぼう</u>		○分数をもっとくわしく調べよう※算数の目で見えてみよう ※おぼえているかな	◎	□比べ方を考えよう ※考える力をのばそう ★ <u>図形の形を調べよう</u>	◎	★ <u>面積の求め方を考えよう</u> ※おぼえているかな	◎	△比べ方を考えよう ※考える力をのばそう ※ <u>かたちであそぼう</u>	◎	★ <u>多角形と円をくわしく調べよう</u> ※おぼえているかな ○分数のかけ算とわり算を考えよう	◎	★ <u>立体をくわしく調べよう</u> ※算数の目で見えてみよう ※5年のふくしゅう ※算数おもしろ旅行
6	◎	△割合の表し方を考えよう ※おぼえているかな ★ <u>形が同じで大きさがちがう図形を調べよう</u>		※おぼえているかな △速さの表し方を考えよう ※算数の目で見えてみよう	◎	△比例をくわしく調べよう ※ <u>かたちであそぼう</u> ※考える力をのばそう ※おぼえているかな		□順序よく整理して調べよう ※考える力をのばそう ※おぼえているかな		□資料の特ちょうを調べよう ※おぼえているかな ☆量の単位のしくみを調べよう		※算数の目で見えてみよう ※算数のまとめ		※算数卒業旅行
7		(2) 1次方程式の利用 章の問題A		△比例と反比例 (1) 関数 (2) 比例 (3) 反比例	◎	△比例と反比例の利用 章の問題A ★ <u>平面図形</u> (1) 図形の移動 (2) 基本の作図	◎	(3) <u>おうぎ形</u> 章の問題A ★ <u>空間図形</u> (1) いろいろな立体	◎	(2) <u>立体の見方と調べ方</u> (3) <u>立体の体積と表面積</u> 章の問題A	◎	□資料の分析と活用 (1) 資料の分析 (2) 資料の活用		(3) 近似値と有効数字 章の問題A
8		(2) 1次関数と方程式	◎	(3) 1次関数の利用 章の問題A ★ <u>平行と合同</u> (1) 説明のしくみ (2) <u>平行線と角</u>	◎	(3) <u>合同な図形</u> 章の問題A	◎	★ <u>三角形と四角形</u> (1) <u>三角形</u>	◎	(2) <u>平行四辺形</u> 章の問題A	◎	□確率 (1) 確率 章の問題A		復習
9		△関数 $y=ax$ (1) 関数 $y=ax$ (2) いろいろな関数の利用 章の問題A	◎	★ <u>相似な図形</u> (1) <u>相似な図形</u> (2) <u>平行線と比</u>	◎	(3) <u>相似な図形の面積と体積</u> 章の問題A ★ <u>円</u> (1) <u>円周角の定理</u> (2) <u>円周角の定理の利用</u> 章の問題A	◎	★ <u>三平方の定理</u> (1) <u>三平方の定理</u> (2) <u>三平方の定理の利用</u> 章の問題A		△標本調査 (1) 標本調査		(2) 標本調査の利用 章の問題A		復習

図表 9

第 6 学年算数科学習指導案（略案）

1 単元名 およその面積や体積を求めよう

2 主題 大槻町の面積を調べよう

3 本時の指導

(1) 目標

○大槻町のおよその面積を、これまで学習してきた図形に分割した形として捉えることを通して、測定することができる。

○これまで学習してきた図形と対応させ、測定する見通しをもち、筋道を立てて考えることができる。

(2) 評価規準

○これまで学習してきた図形と対応させ、測定する見通しをもち、筋道を立てて考えることができる。【思考力・判断力・表現力等】

○大槻町のおよその面積を、測定することができる。【技能】

(3) 展開

	学習内容及び学習活動	指導上の留意点、評価規準⑥ 等	備考
導入 (8)	<p>1 本時の学習課題を把握する。</p> <p>(1) 大槻町の地図を見て、面積を求めるには、このままでは求められないことを確認する。</p> <p>どうすれば大槻町の面積を求めることができるか考えよう。</p> <p>2 学習内容の見通しを持つ。</p> <p>(1) どうすれば求められそうか、予想を立てる。</p> <p>これまで習った図形に直す。</p> <p>分けて考える。</p>	<p>・大槻町の衛星写真を見せ、面積がどれくらいか考えさせる。</p> <p>・既習のおよその面積を求めたときの考え方を想起させ、既習の図形に分割して考えればよいことに気づかせる。</p>	・大槻町の地図
展開 (30)	<p>3 学習課題を追求する。</p> <p>(1) 各班で話し合いながら、面積を求める。</p> <p>・方眼シートを重ねて、考える。</p> <p>・中途半端な形のところは、既習の図形と捉えて求める。</p> <p>1km×1km が○個だから・・・</p> <p>ここは三角形に見える。</p> <p>(2) 各班で求めた考え方を全体で共有する。</p> <p>(3) 実際の面積と比べてみる。</p> <p>4 学習のまとめをする。</p> <p>大槻町のように複雑な形でも、これまでに学習した図形を基にして考えれば、面積を求めることができる。</p>	<p>・各班で大槻町の衛星写真と 1km×1km のマス印刷した透明なシートを配り、重ねて考えさせる。</p> <p>・1km×1km が何個分ありそうかや、どんな図形に見えるかなどの声かけを適宜行う。</p> <p>⑥これまで学習してきた図形に分割した形として捉えることを通して、測定することができる。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>・答えの正確さよりも、これまで学習してきた図形に分割した形として捉えていることを価値づける。</p> <p>⑥これまで学習してきた図形と対応させ、測定する見通しをもち、筋道を立てて考えることができる。(発言・発表内容)</p>	<p>・方眼シート(透明)</p> <p>・大槻町の地図</p>
終末 (7)	4 本時の振り返りを行う。	・本時で分かったことや、考えたことについて感想を発表させる。	・ノート

今年度の重点目標「図形」領域における、ふるさと科と関連した算数・数学科の指導の具体例として 6 年生の指導案を作成した。地域に目を向けた教材を作成すること、学習活動に協働的な学びを取り入れ、「他者とかかわる力」を高めることに留意した。次の単元では、割合の学習で人口密度の求め方も学ぶため、今回の面積の学習を生かして、大槻町の抱える問題に目を向けることにもつながると考える。

第 9 学年数学科学習指導案（略案）

1 単元名 三平方の定理 (2 節 三平方の定理の利用)

2 主題 大槻学園にロープウェイ！？

3 本時の指導

(1) ねらい

○身の周りで三平方の定理が使われていることを実感させる。

○高校数学への見通しをもたせる。

(2) 評価規準

【関心・意欲・態度】

○問題解決の過程を調整しながら学習を行っている。

(3) 展開

	学習内容及び学習活動	指導上の留意点、評価規準⑥ 等
導入 (12)	<p>1 問題提起</p> <p>・函館山、摩耶、六甲有馬にあるロープウェイの仕様を提示し、これらに共通する性質を問う。</p> <p>2 問題提示</p> <p>もしも大槻学園と小嶺山との間にロープウェイを設置するとしたら、何mのロープが必要ですか。</p>	<p>・電車を用意する。</p> <p>・おおよその値を求めることに留意させる</p>
展開 (28)	<p>3. 問題解決</p> <p>・何が分かれば求められるか見通しをもたせる。</p> <p>・タブレット端末を利用して標高や距離を調べながら求める。</p> <p>4 適応問題</p> <p>大槻学園と小嶺山であれば何mのロープが必要ですか。</p> <p>5 問題提起</p> <p>T:本当に標高と距離が分かればロープの長さって求められない？</p> <p>S:求められません。</p> <p>T:水平方向から小嶺山を見上げた角度が 30° だったら？</p> <p>S:あー、求められそう。</p> <p>T:他に何度であれば求められそうかな？</p> <p>S: 45° , 60°</p> <p>T: 50° だったら？</p> <p>S:分からない。</p> <p>T:今は分からないかもしれないけど、高校で勉強すれば求められるようになります。少しだけ紹介。</p> <p>6 高校の学習内容に触れる。</p> <p>・直角三角形において、1つの長さとして1つの角度が分かれば、三角比を基に求めたい長さが分かることを紹介。</p>	<p>・タブレット端末を用意する。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>⑥問題解決の過程を調整しながら学習を行っている。(学びの様子・発言)</p> <p>・直角三角形において、有名角であれば一辺と角度さえ分かれば求めたい長さが求められることを押さえる。</p> <p>・三角比の表を用意する。</p> <p>・表の使い方や有名角の時には特別な直角三角形の3辺の比になっていることを中心に扱う。</p>
終末 (10)	<p>7 本時及び本単元の振り返り</p> <p>S:スロープを作るときにも使えそうだと考えた。計算もがんばりたい。</p> <p>S:長さだけでなく、角度が分かれば求めたい長さを知ることができる。高校の学習の三角比が楽しんだ。</p>	<p>・本単元を振り返りながら、数学的価値を再認識させる。</p>

「『もしも』ロープウェイを作るなら」と仮定したり、地形や距離などを理想化単純化したりしながら考えていく数学的活動によって、数学の有用性を実感させていくことを重点にした。また、今までの学習から「駅からロープウェイを作れば観光客が増えそう」「スロープを作るときに使える」といった町づくりの視点による発言も大切にすることや測定は高校数学の三角関数とも関連するため見通しをもたせることに留意した。

第4章 本研究の成果と課題

小中一貫カリキュラム開発の全体発表会における、岩手県立総合教育センター藤岡宏章所長からのコメントを次にあげる。

1 カリキュラムの検討・作成にあたって確認すべき事項について

(1) 計画の条件基盤の確認について

実際の場合は、学校の状況、児童生徒の状況、学校を取り巻く状況（地域の状況や社会動向に加え、保護者の願いや地域の想いを含む）等を確認・把握して計画される。

今回は、「沿岸」「被災地」「小中一貫」という基盤となる条件があることから、それぞれのフィルターを通して、「学習材としての特色」、「思考の場や活動の場の特色」等を整理し、そのことを踏まえた計画を考え、各学習を配置していくことが求められる。

(2) 一貫教育としての確認について

計画を構成する項目や内容・要素に一貫性があるかが問われる。それぞれの内容は適切であっても、それぞれに「一貫教育」として関連性が見え、一般論ではない特長的なものが感じられなければならない。このことは、例えば系統性という視点においても同様でありある。そもそも学習指導要領は系統的に内容が構成されていることから、その上で一貫教育としての系統をオリジナルのものとして創造できるかがカギとなる。

2 成果について

・カリキュラム・マネジメントが求められている今、具体を想定して計画を立案してみることはかけがえのない経験であり、そのことで教育活動を俯瞰的に見ることでこれまで見えなかったこと、気づかなかったこと等様々な課題が明らかにできたと思われる。

・カリキュラムの立案にあたってのベースとなる考え方（理論）をまとめ、具体として9年間を通した計画を立て、その考えの具現化を図るプロセ

スは正統的なアプローチと言える。そのことを踏まえて、計画が構造的であり、「重点」「方針」に加えて、「指導方法」に留まらずその「推進体制」にまで目を向けていることは興味深い。

・小中一貫で教育を考えることは、教育活動をダイナミックなものにするとともに、9年間の学びをねらいから外れることなく、それぞれのパーツとなる活動や取り組みを、1つの柱に沿ってつなぎ・整理・分類することでより効果的な教育展開が可能となる。

3 課題について

・学校としての小中一貫教育の考え方を述べることは大切であり、そのことに沿って一貫教育における教科や領域が担うものは何か、そして一貫教育であるためには、どのようなアプローチ・切り口があり、その具現化のための手立てはどのようなことが考えられるのかという視点で計画を改めて検証してみる必要がある。

・ホップ・ステップ・ジャンプの3つの期は、学校経営の考えに基づく教育課程編成の根幹の1つである。この「期」の編成の意図・ねらいを踏まえ、教科等の特色を加味し、より効果的なカリキュラムにしていくためには、共通する基盤にありながらも柔軟性ある編成に目を向けていく必要がある。その際、各期の接続の在り方は重要な論点であり、ぜひ議論のテーマにしたい。

・発達段階に応じた資質・能力を明確にすることは極めて重要であり、その上で、例えば総合のように「ふるさと科の3つの柱」と「3つの期」を整理・分類し、各活動に系統性と整合性を持たせ、いつ・どこで・何に取り組むべきかを明らかにしたことは検証・評価の精度の向上にもつながる。指導方法、指導体制に加えて、評価方法を明確にすることは、どの教科等においても進めていく必要がある。

・今回の計画立案にあたっては、参考地域の状況をもっと色濃く出した大胆な計画が可能であったと思われる。例えば、地域コミュニティとの関わりの視点にさらに踏み込みこむことで教育課程に

特色を持たせることができるとともに、地域を巻き込み地域の教育力の向上にもつながり、地域活性化の1つの視点にもなっていく。このように計画の参考地域の状況を十分に生かしたオリジナル性の高い提案を今後期待したい。また、校種間連携に関することは今後益々重要となる。高校との連携は双方向性をもたせることができるかがカギとなる。また、教科等をふるさと科と関連させていくためには、地域素材の開発や地域コミュニティの活用等、多角的・多面的なアプローチで切りこむ必要があろう。

（文責 藤岡宏章）

第5章 今後への期待

前期「特色あるカリキュラムづくりの理論と実際」と後期「学習指導要領とカリキュラム開発」の2つの授業は、カリキュラムの考え方やカリキュラムを開発する力を身に付けることを目的として行ったものである。この2つの授業を通して、院生は、学習指導要領で求められているカリキュラム・マネジメントの必要性や、考え方を理解するとともに、実際にカリキュラムを作成することにより、カリキュラムを開発する力が身に付いたと考える。

これまで各教科における全体計画を作成することは、学校現場においてはあまり見られなかった。カリキュラム・マネジメントや「学びの地図」の観点が強調される今回の教育課程改革の趣旨を踏まえると、例えば教科間や教科と総合学習をつなぐ視点から教科の全体計画を作成することは、今後ますます必要となると考えられる。また、本県においても小中一貫教育や校種間の接続が今後一層求められる。このことを踏まえると、今回のカリキュラム開発は、これからの学校経営や教育課程の編成にとって意義あるものといえる。

今後、今回作成したカリキュラムを学校現場で実践し、さらに検証・修正・改善に努めていくことを期待したい。

（文責 小岩和彦）

<引用・参考文献>

- 1) 校種間接続としては、すでに公立の中学校・高等学校については、平成10（1998）年6月の学校教育法改正により、翌年4月より、中学校から高等学校までの一貫した教育を行う単一学校として中等教育学校の設置や、併設型ないし連携型の中高一貫教育を行うことが可能になっている。また、従来も研究開発学校や構造改革特別区域などで小中一貫教育などの取組みが行われてきたが、平成17（2005）年の中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」において、6・3制の見直しや9年制の義務教育学校の可能性など、校種間の接続の見直しの検討が示されて以降、呉市や品川区など各自治体で公立の小中一貫教育の取り組みが見られるようになってきた。その後、平成27（2015）年6月の学校教育法の改正を経て、翌年4月より、公立の小中一貫教育校として、義務教育学校の設置が認められるようになり、政策的に小中一貫教育がいつそう進むことが想定される。本研究では、このような政策動向も踏まえ、改訂学習指導要領でも挙げられる校種間の接続の観点から、岩手県初の義務教育学校である大槌学園を参考にしつつ、小中一貫教育という条件のもとでモデルカリキュラムの開発を行った。
- 2) 平成30年度全国学力・学習状況調査結果資料参照。（2019. 1. 15閲覧）
http://www.nier.go.jp/18chousakekkahoukoku/factsheet/18prefecture-City/03_iwate/index.html
- 3) 平成30年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査結果報告 参照。（2019. 1. 15閲覧）
<http://www.pref.iwate.jp/kyouiku/gakkou/gakuryoku/51821/index.html>
- 4) 小中一貫教育全国連絡協議会、大槌町、大槌町教育委員会『平成30年度第13回小中一貫教育全国サミット in おおつち すべての子どもたちに「豊かな育ち」と「確かな学び」を保障する小中一貫教育～10年後・20年後の日本を担うグローバル人材の育成を目指して～』（2018）参照。

- 5) 中央教育審議会「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（2016年12月21日）参照。
- 6) 文部科学省「小学校学習指導要領解説 国語編」（2017）参照。
- 7) 文部科学省「中学校学習指導要領解説 総則編」（2017）参照。
- 8) 大槌町教育委員会『大槌町教育～学校・家庭・地域がチームで創る教育～』（2018）参照。
- 9) 光村図書出版 小学校国語 「年間指導計画・評価計画資料」参照。（2019. 1. 29閲覧）http://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/s_kokugo/index.html
および光村図書出版 中学校国語 「年間指導計画・評価計画資料」参照。（2019. 1. 29閲覧）http://www.mitsumura-tosho.co.jp/kyokasho/c_kokugo/keikaku/index.html
- 10) 福山市立城北中学校平成29年度第1学年「全体計画」参照。（2019. 1. 22閲覧）
http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-johoku/schoolplan/2018_syllabus/2018_syllabus_1nen.pdf
- 11) 大槌町教育委員会『大槌町教育～学校・家庭・地域がチームで創る教育～』（2018）参照。
- 12) 平成29年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査結果報告 参照。（2019.1.15閲覧）
<http://www.pref.iwate.jp/kyouiku/gakkou/gakuryoku/51821/061057.html>
- 13) 平成30年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査結果報告 参照。（2019.1.15閲覧）
<http://www.pref.iwate.jp/kyouiku/gakkou/gakuryoku/51821/070249.html>
- 14) 文部科学省『小学校学習指導要領解説（平成29年告示）算数編』（2018）参照。
- 15) 文部科学省『中学校学習指導要領解説（平成29年告示）数学編』（2018）参照。
- 16) 小中一貫教育全国連絡協議会，大槌町，大槌町教育委員会『すべての子どもたちに「豊かな育ち」と「確かな学び」を保障する小中一貫教育～10年後・20年後の日本を担うグローバル人材の育成を目指して～平成30年度 第13回小中一貫教育全国サミット in おおつち』（2018）参照。
- 17) 東京書籍「新編 新しい数学」年間指導計画作成資料 参照。（2019.1.15閲覧）
<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/keikaku/sugaku/index.htm>
- 18) 福山市立城北中学校 平成29年度第3学年「全体計画（年間指導計画一覧表）」（2017）参照。（2019. 1. 28閲覧）<http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/chu-johoku/>